

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.
157

2010年6月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
 泉の家 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
 izumi@izumikai.jp
 http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
 info@hinodesha.org
 http://hinodesha.org/

岡本福祉 157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
 作業ホーム ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
 okamoto@izumikai.jp
 http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム 158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
 玉堤分場 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
 tamatutumi@izumikai.jp
 http://izumikai.jp/tamatutumi/

グループホーム 〒197-0825 あきる野市雨間322-12
 いずみ ☎042(550)9083
 bwz12948@nifty.com



ペットボトルキャップリサイクル作業を行なっています。(日の出舎)

● 本年の聖句

主は、従う人に目を注ぎ
 助けを求める叫びに耳を傾けてくださる。

主は、助けを求める人の叫びを聞き
 苦難から常に彼らを助け出される。

主は、打ち砕かれた心に近くいまし
 悔いる霊を救ってくださる。(詩篇34章16、19節)



理事長 橋向敏治

ゆとり

地道に生きようとする人が、人生を悲観せず歩める環境を望むのは万人の願いです。人が生活を成り立たせて生きて行く幸せは、大切なことです。しかしながらその望みが達成されると無意識の慢心を生じます。自分の幸せのみを追い求める生き方は、寂しい人生です。自分の命をどのように開花させて、生きている充実感を味わうためには、人はどうしたら良いのでしょうか。日々を誠実に生きることが大切だと思います。利用者に福祉サービスを提供し、信頼をされる福祉事業には、誠実さ、謙虚さ、真面目さが求められます。しかし他面、誠実な真面目な人は、悩み苦しみのため内向して、心の病気に成り易いところがあります。人は緊張すると動悸が激しくなり、声は上ずり思わぬ発言や行動を起こします。そのような時に深呼吸をし、間を置き、気を静めて行動することは大切です。これが心のゆとり・気持ちのゆとり・互いの呼吸を読む間合いではないでしょうか。仕事に向かう姿勢に、ユーモアのセンスを持ち、気分転換を図り、解放された気分「ゆとり」が欲しいものです。「泉の家」が完成し、運営を軌道に乗せることが求められております。また引き続き本年「日の出舎」の建て替えが間近に迫っています。今後とも皆様のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

泉の家

新しい事業でのスタート

改築工事を進めていましたが、計画通りに、4月より多機能事業所として開所いたしました。

全体の定員51名、現員22名で開所となり運営面では厳しい状況となります。運営状況の把握が最重要となります。

新たな体制の構築のため、安全第に事業を進めます。また、利用希望をいただけるよう職員一同、受け入れ態勢を整えます。

【支援目標】

「新しいことが待っている」

昨年の政権交代により、障がい者を取り巻く環境は、大きく変わろうとしています。2013年8月の「障がい者総合福祉法(仮称)」策定など、めまぐるしく変わる福祉制度に対応し、法人の使命を果たすための方針に沿って事業を進めます。

法人事業計画

- ・日の出舎の建替えを進めます。
- ・岡本福祉作業ホーム玉堤分場の指定管理を更新します。
- ・グループホームいずみの国の制度への転換に努めます。
- ・地域の活動へ積極的に参加し相互理解に努めます。

受け、あきる野市の支援の下、オーナー様のご自宅の3階を、好意によりお借りして、4床(女性)で2005年10月に開設しました。今年で5年目を迎えます。

今年度の計画としては、国が自立支援法による身体障がい者のグループホームを認めたことから、都事業である当グループホームの経営を巡り、国や都の福祉動向を注視し必要な対応をしていきます。また、老人グループホームで火災が起きたことから、防災計画をより一層充実させ、安全確保に努めることを重点課題とします。

1.経営管理

・東京都、あきる野市及び法人、日の出舎との連携を図る。

【重要実施事項】

1. 多機能事業の支援体制の構築
2. 新規利用者の個別支援計画の作成とP.D.C.Aの実施
3. 特別支援学校への情報発信
4. 毎月の経営状況の確認
5. 各事業のネットワークに参加
6. 法人友の会との連携
7. 障害者福祉政策の情報収集と勉強

以上は、年間を通しての実施内容となります。その他、月毎に重点事項を設けて計画的に実施いたします。

【総務課】

今年度は、多機能事業として新たな事業が加わり、実施します。運営面

- ・各事業所の経営の効率化を目指します。
- ・経営理念、基本方針等を遵守した業務を遂行します。
- ・新中期計画に沿った事業経営を目指します。
- ・国の制度政策を研究します。
- ・泉の家の経営の安定化を図ります。

- ・地域関係者が気軽に立ち寄れる施設環境を整えます。
- ・事務局業務の再構築を図ります。
- ・諸規程の見直しを行います。
- ・月次報告を活用します。
- ・法人研修を充実させ、人材育成制度の再構築を図ります。
- ・諸会議を見直し効率化を図ります。

- ・管理人とスタッフとの協調。
- 2. 支援
- ・健康面に留意し、自己管理能力の向上を図る。
- ・地域交流や余暇活動の充実。

以上を課題として取り組みます。宜しく願います。

岡本福祉作業ホーム・分場

岡本福祉作業ホーム(本園・分園)は、「元気」と「信頼」をキーワードに、今年も利用者満足・職員満足の上昇に努めます。

事業コンセプトを大切にしながら七つの重点課題の達成と改善に努めます。

に重点を置いた経営管理が必要となります。

会計処理も、生活介護・就労継続B型就労移行短期入所で行います。

【支援課】

新たな利用者も加わり、新しい事業もスタートします。職員一丸となつて、利用者が安全に安心して日中活動を過ごすことができるように支援します。食事の提供では、委託業者と連携し、食事形態の多様化に対応していきます。また、カフェテリア方式を導入し、適温で食事提供をいたします。

日の出舎

建替え制度移行の実現

昨年度申請した「施設整備事業(建替え)計画」は「耐震化特別対策(建替え)事業」に変更し、今年度の東京都事業として実施して頂ける様担当課との協議を継続します。

現制度サービス事業移行に関しては、2011年1月に移行すべく、準備を進めます。その内容は、施設入所支援(生活介護)・定員50名と就労継続支援B型(通所)・定員20名の障害者支援施設です。

上記2事業の実現の為

(事業コンセプト)

- ・皆が元気に過ごせる事業所
- ・地域に信頼される事業所
- (重点課題)
- ・ビジョンの共有化
- ・通所率アップ
- ・地域ネットワークへの参加
- ・個別支援の充実
- ・個人別能力開発プラン
- ・マニュアルの定期的な見直し
- ・各事業のプログラム検証

(岡本福祉作業ホーム)

岡本ホームは、就労移行・就労継続B型の事業と障がいの重い方にも利用して頂けるよう生活介護事業を実施しています。

- 1. 生活介護事業
- ・一人ひとりに合った作業活動を提供します。
- ・自由のびのびと創作活動ができる環境を提供します。
- ・選択コース、クラブ活動等を通し、社会参加を支援します。

- 2. 就労移行支援事業(含分園)
- ・個別のニーズに合わせた就労プログラムを提供します。
- ・就職に必要な能力や基本的生活習慣の習得を支援します。

1. 総務課

- ・事務の更なる効率化の実施。
- ・財務の適正執行の実施。
- ・労務管理の徹底。(夜勤態勢へのスムーズな移行の実現)
- ・目標稼働率95%。

2. 支援課

- ・地域支援入所型施設としての役割の明確化。
- ・個別支援計画を見直し、個別プログラムの充実を図ります。
- ・日中活動の充実。
- ・日常生活支援内容の見直し。
- ・健康管理。
- ・生産活動関係規程の変更。
- ・作業安全対策の徹底。

以上を重点課題として取り組みます。

今年度も宜しくお願い申し上げます。

グループホームいずみ

グループホーム「いずみ」は、障害者自立支援法に身体障がいの者のグループホーム事業が無かったことから、東京都の「重度身体障害者グループホーム(B型)」として認可されました。泉会としては、都の福祉施策推進プランを

- 3. 就労継続B型支援事業
- ・月平均工賃目標9,000円を目指します。
- 4. 施設整備、苦情対応他
- ・施設設備の長期修繕計画を作成します。
- ・世田谷地区で、オンブズパーソン制度を取り入れます。
- ・緊急時一時保護事業の取り組みを行ないます。

(玉堤分場)

玉堤分場は、高次脳機能障害のある身体障がいを主とし、三障がいの受入をしています。本園との一体的な事業経営を目指し、就労移行・就労継続B型の事業を行います。

- ・月平均工賃目標12,500円を目指します。
- ・作業工程を細分化し、利用者が分かりやすく関わられるようします。
- ・出張教室等を活用し、利用者が施設内外で活動・交流できる場所を広げます。
- ・打合せを活用しスケジュール管理ができるよう支援します。

今年度は、指定管理更新の年です。昨年同様皆様のご協力とご支援をお願いします。

泉の家

*特に良いと思う点

「新しいサービスへの転換を進めた、職員一丸となつての事業所運営と成果」

利用者の意向把握から、全員の移行先を確保する一方、通所事業を継続している。施設長を先頭に、職員が一丸となつて利用者が安心できる環境整備に邁進し、新事業の本格実施に向け目処がついたことは、法人の歴史に残る大きな成果である。

「長年の入所施設運営経験を生かした、利用者一人ひとりの意向や暮らし全体に目配りしたきめ細やかな支援」

40年以上の長きにわたり入所施設を運営してきた経験を活かし、専門職が定期的に利用者の相談に応じる体制を整え、移行後も、利用者が充実した生活が送れるよう地域の支援機関等とつなぐ役目を果たしている。限られた数の職員が、使命感を持って、個々の利用者支援に最善を尽くそうとする姿勢が高く評価される。

「民家を借り上げての家庭的なサービスの提供」

利用者も職員も少人数での活動の中で、「今しかできない」取り組みを実施している。「お楽しみ給食」と銘打つての夕食、小グループでの泊旅行、さらにこの秋には海外旅行も計画されている。建物は手狭で、使いにくい面も見受けられるが、利用者へのきめ細かな支援と合わせて次の飛躍に向けての地道な取り組みがなされている。

*さらなる改善が望まれる点

「建物改築後の利用者数拡大を視野に入れた、事業所認知度のアップに向けた取り組みの促進」

平成22年度からは、多機能事業と

なり、対象となる利用者も知的障がいや精神障がいを持たれる方が新たに含まれる形となる。利用者数の拡大が求められるなか、パンフレット等による広報活動に留まらず、これまでにない情報発信とそれに向けた計画的な取り組みの拡充に期待したい。

「多機能型事業所としての多様な支援に対応した様式・マニュアル類の改定・拡充」

現状は仮事業所での運営ということもあり、多くのマニュアル類は授産施設時代に使用していたものを援用している。来期からは多機能事業となるため、マニュアル等現状の様式や手引書を改定・拡充する必要があるものと思われる。職員一人ひとりが「層高い意識で取り組みたい課題である」。

「職員の意思統一とチームワーク強化へのさらなる取り組み」

新事業への企画・検討、その上での入所利用者の新たな生活基盤の確保といった難しい事業を展開してきた。今後は、次のステップへ向け、職員の更なる

意思統一とチームワーク強化を図るための貴重な時期と思われる。

田の井

日の出舎では昨年度の第三者評価を特定非営利活動法人 福祉経営ネットワークという評価機関に依頼して実施しました。8月の利用者職員の説明会と、調査書類による自己評価を経て、9月の評価者3名による利用者聞き取り調査、訪問調査を経て、11月16日に利用者・職員への結果報告会ができました。報告会では、評価機関独自のわかりやすいフィードバックレポートを使った説明が行われました。この第三者評価の結果については、紙面の字数に限りがあつて詳細な内容を記載できない上、要約には適さないものなので、ごく簡潔に「全体の講評」の「特に良いと思う点」と「さらなる改善が望まれる点」のタイトルのみを挙げることにします。

*特に良いと思う点

1. 中長期計画の策定
2. わかりやすい利用説明書を作成し安心して利用開始ができるよ

(玉堤分場の評価)

*特に良いと思う点

1. リーダーシップの発揮により、利用者満足と職員のサービス能力向上を実践
2. 各種専門職との連携をとりながらの利用者支援の充実
3. 地域社会に出て、あるいは地域を引き入れての利用者の生産・販売と交流活動

*さらなる改善が望まれる点

1. より一層の「サービスの質の向上」
「職員のやる気の向上」を実現するため、個人別能力管理システムの構築が望まれる
2. 三障がいを受け入れる事業所としての認知アップを図りたい
3. 利用者支援に関するノウハウ、スキルの体系化に期待

この結果、専門性の高いサービス、利用者満足度は維持していますが、支援スキルの体系化、個人別能力開発の仕組みづくりが重要な課題であることが分かり、今年度の事業計画の重点項目として取り上げ取り組んでいます。

第三者評価

配慮している

3. 利用者の意向を反映し充実した日常生活のための支援

*さらなる改善が望まれる点

1. 人材の採用と職員の士気を高める取り組みを
2. 利用者権利保持のための組織的取り組みを
3. 利用者の士気を高める関わりを

以上がその結果です。経営改革推進事業から出発した「経営目標Ⅱ中期計画」ですが、右の結果にも見るように次の転換の時期にさしかかっています。評価期間中に検討中だった次期経営目標の骨子がまとまり、まもなく完成しようとしています。この経営目標Ⅱ中期計画では、第三者評価の内容を細目に互って精査し、改善策等を目標に反映させています。した

岡本福祉作業ホーム分場

かつてこの経営目標から導き出される単年度の事業計画にも、第三者評価の内容が組み込まれています。第三者評価こそ経営改革の道標であると言えます。

岡本福祉作業ホーム及び玉堤分場は、平成16年度と17年度に世田谷区のモデル事業として第三者評価を受審しました。16年度は(株)日本生活介護、17年度は(株)地域計画連合にお願

いし評価を受けました。その結果、本園は、利用者本位の個別支援やグループ支援が評価され、利用者満足度は高い評価が与えられました。改善点としては、ビジョンの浸透やファシリテーターによる活性化を図り、職員のやる気向上につなげることが上げられていました。

玉堤分場は、高い専門性や地域でのネットワークを活かした支援が評価され、利用者の自主活動の促進やマニュアル整備が改善課題として上げられました。

本園・分園は、これらの課題を中期

(岡本福祉作業ホームの評価)

*特に良いと思う点

1. 3カ年中長期経営計画に基づき、目指す経営理念実現に向けた具体的な活動目標が明確
2. 専門職の協力を得ての多面的な支援
3. 利用者を中心にすえた活動の展開と事業運営

*さらなる改善が望まれる点

1. 職員のマネジメント・処遇について適切な対応を検討したい
2. より一層の「サービスの質の向上」
「職員のやる気の向上」を実現するため、個人別能力管理システムの構築が望まれる
3. 利用者支援に関するノウハウ、スキルの体系化に期待



座ってもできる体操を
教えていただいています。

【利用者・家族・地域向け研修】
玉堤分場では、専門職に依頼して、利用者・家族・地域向けの研修会を企画し、開催しています。ここ数年は、脳血管障害がいの後遺症である「高次脳機能障害」について、リハビリテーションの医師、作業療法士に、利用者の生活の困りごとなどに、専門的な説明とアドバイスをしてもらいながら、皆で考える機会としてきました。その中で、運動の必要性を実感する機会があったらよいのでは…ということになり、今回の「ニコニコ増生活」気持ちよく身体を動かしましょう。

玉堤分場だより



「先生の指導でアクティブに」

う」を月二回の体操を指導している運動指導員の石田先生にお願いしたわけ。

石田先生の運動の特徴は、椅子に座ったまま、おしゃべりしながら、ずつと身体を動かす事です。これが連続90分となるとかなりハードです。前半は、ストレッチで丁寧に身体をほぐし、後半のボールを使つてのゲームになると気持ちも盛り上がり、全身を使って運動している状態になります。笑ったり歌ったりもするので、有酸素運動も入り、ラストのクールダウンでは体も温まり、表情も良くなりラクゼーション効果は絶大です。

今回は残念ながら利用者のみの研修となりましたが、今後も施設が持つ社会的資源を地域に積極的に還元していく機会を作っていきます。

(上原 絹代)



小幡仁先生と一緒に
「気持ちいい」

【ストレッチ体操3年目を迎えて】
岡本ホーム生活介護事業では毎月第2水曜日に大勢のボランティアの協力を得ながら、ストレッチ体操を実施しています。普段あまり使っていない筋を伸ばすという事で、始めた当初は先生の「はいもつと(足を)高く上げてー」の声に「痛たたたあー」「えっー」といった苦笑が多かったのですが、最近では「楽しみにしている」「身体が良くなった気がする」と言つて下さる方がほとんどです。職員も利用者の手足を伸ばしながら、本当は私も誰かに伸ばしてもらいたい…と思うことしばしばです(笑)。

岡本ホームだより



大勢のボランティアに支えられての
ストレッチ体操です。

お蔭様でストレッチのある水曜日の出勤率は伸びており、賑やかに楽しくおこなっています。また、ボランティアとのふれあいを楽しみにされている方も多いようです。みんなの先頭に立つてストレッチを指導してくださるのは小幡仁先生。厳しい中にもユーモアを交えながら指導して下さいます。そして小幡先生と一緒にストレッチのお手伝いをしてくださるのには原昌子さんと鈴木美枝子さん。毎回毎回の休まずのご参加、本当にありがとうございます。他にも数名のボランティアに支えられています。全員を紹介することはできませんが、今年3年目を迎えて、紙面をお借りして感謝の気持ちを述べさせていただきます。有難うございます。そして今後もよろしくご支援お願いいたします。

(河村 律子)

日の出舎だより

「ブリヂストンTODAY見学」

日の出舎では毎月2回、利用者ととも近隣の工場や資料館、博物館を見学する「フィールドワーク」を実施しています。これは普段外出の機会の少ない利用者に社会見学の機会を提供し、見聞を広めることを目的としています。3月後半のフィールドワークでは小平市にある展示館「ブリヂストンTODAY」を訪れました。



大きいタイヤはとても迫力がありました。

ブリヂストンTODAYはゴム、タイヤ、ブリヂストンの情報を紹介する展示館です。ゴムやタイヤは社会のさまざまな分野で使用され、生活のなかで欠かせないものです。

まず最初に、ブリヂストン誕生の歴史と近年の企業の取り組みについて係員から説明を受けます。今回は、自動車のタイヤに興味があるようで、実際にF1のタイヤをさわってその軽さと柔らかさに驚いたり、ブリヂストンのさまざまな取り組みの幅広さに関心をもちました。この展示館は障がい者向けにトイレやエレベーターも完備されており、みな不自由なく学ぶことができました。今回お手伝いくださった方々にはお礼申し上げます。(二見 秀彦)

レーシングカーの前に



を受けました。ブリヂストンという社名は創業者の石橋正二郎にちなみ英語の「ブリッチ」(橋)と「ストーン」(石)を合成したものです。

【ブース・カフェ、オープン!!】
5月11日(火)、泉の家1階に、「ブース・カフェ」がオープンしました。閑静な住宅街の中、店舗は小さいですが、落ち着いてコーヒーが飲めるお店を目指して活動しています。

店名は泉の家の利用者・職員から公募し、決定しました。「ブース」とは、フランス語で「ひとやすみ」の意味です。

メニューは、現在のところ、コーヒーや紅茶など飲み物が中心となっています。ですが、一番のおすすめは「ソフトクリーム」です。ソフトクリームの巻き方は予想以上に難しく、オープン前には、何回も練習を繰り返しました。機械の取り扱いも難しく大変苦労しましたが、今では、自信を持ってお客様におすすめています。

活動しているメンバーは、就労移行支援事業の利用者です。就職を希望している利用者が、カフェでの活動を通して様々な体験をし、就職に必要なことを身に付けられるよう支援しています。営業中は接客が中心ですが、店舗内外の掃除、パソコンを使つて

泉の家だより



おいしいコーヒーを淹れてお待ちしています。

メンバーの頑張る姿を見ながら、ゆつくりコーヒーを楽しんでいただきたいと思っています。ぜひ一度、ご来店下さい。お待ちしております。

(既橋 真由子)

の伝票作りや帳簿の管理、集客のための企画など、あらゆることにチャレンジしてもらっています。

最後にお店の宣伝です。

営業時間は、午前11時から午後3時まで。テラス席では、ワンちゃん連れのお客様も楽しんでいただけます。コーヒーは、こだわりの有機栽培アロマブレンドを使用しています。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一〇年五月十一日発行（SSK P 通巻四四二九号）

シリーズ

自立



伊藤雄二さん

昨年10月に就職した元利用者の伊藤雄二さんの会社を訪問して仕事の事などをお聞きしました。

伊藤さんは新事業移行の時、悩んだ末に就労移行支援を希望し、就職活動を始めました。岡本ホームの就労移行支援は伊藤さん一人という状況だったため、一緒に頑張る仲間もない中、二つの課題を乗り越えてリゾートトラスト株式会社に就職を決めました。

Q お仕事の内容を教えてください

A ダイレクトメールの発送に関わる仕事です。ダイレクトメールの三つ折りや封入、封かん。宛名ラベルシールの貼り付けなどやっています。一度だけ戻ってきた封筒に書かれている住所をパソコン入力したことがあります。パソコン研修も受けました。

Q 通勤時間はどれくらいですか？

A 1時間20分くらい。バス2本乗り継

いでいるので早ければ1時間くらいで行けます。最近大橋ジャンクションができたためよく渋滞しています。

Q 仕事は大変ですか？

A 仕事は覚えたので大変な事はないです。通勤の方が大変かな。

Q 就職してから会社の方に注意されたことはありますか？

A 周りの人と仲良くなつて仕事中に話に夢中になってしまい、手が止まってしまう時に注意されました。最近注意された事を意識して仕事をしています。

Q 就職して良かったなと思う時はありますか？

A 給料をもらった時。工賃の何倍も貰っているからね。

Q 休日はどのように過ごしていますか？

A 岡本にいる時から続けているハンドサッカーや友達と遊びに行ったりしています。また、最近登録したクロウバーにも行っています。だけど疲れてしまうので、土日のうち1日は家でのごんびりと過ごそうにしています。

Q これから就職を目指している人にアドバイスとして何が必要だと思いますか？

A 挨拶（即答でした）

伊藤さんは就職した年の2月に10

日間の体験実習を行いました。その後、7月に障害者委託訓練を受講し8月からのトライアル雇用を経て本採用へと繋がりました。

リゾートトラスト株式会社には若い知的障がいの方が多く雇用されていて、岡本の雰囲気とは異なるため就職当初は戸惑っていると感じられる姿が多く見受けられました。また、初めての人の積極的な話しかけられるタイプではないため支援者としても心配していました。徐々に仲間もできて私語を注意されるぐらいに慣れてきた事に良いのですが、逆に安心しました。もちろん小さな課題はありますが、会社の方からも訪問する度に「頑張っていますよ」と評価を頂いています。この先、大変な事も出てくると思いますが、二つ乗り越えていって頂きたいと思っています。（越川 則行）



宛名ラベルシールを貼っています。

製品紹介

日の出舎

おふろフィッシング



おふろで、フィッシング！



おふろフィッシング

おふろフィッシングは、お風呂の中で釣りを楽しむ玩具です。ひのきは水に浮き、とても良い香りがします。遊び方として、まず魚をおふろに浮かべます。そして付属の釣竿で一匹ずつ釣り上げて下さい。おふろから上がった後、魚、釣竿をとりだします。そして乾かしてから使用すると、何度でも楽しめます。（材質：東京多摩産ひのき）

価格：1,000円（税込み・メール便に限り送料込）

※PHP出版「のびのび子育て」（増刊号）に掲載されました

連絡先：日の出舎 加藤 ☎【042-597-1451】

Mail【hanbai@hinodesha.org】